

びらとり

2009 (平成 21)

3

No.583



希望に満ちた朝
旅立ちの笑顔

振内中学校 卒業式

平取地域イオル 再生事業の概要

はじめに

平成9年7月1日、「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が施行されて以来、アイヌの人たちも各地でアイヌ文化の振興等について様々な取り組みを進めてきました。

しかし、アイヌ語などアイヌ文化を受け継ぐ人たちと伝承する人たちが高齢化等により減少している現状や、歴史的な社会環境の変化に伴い自然素材の確保が困難になるなど、アイヌ文化を総合的に伝承する上での基盤が失われつつあり、その対策が急務となっています。

白老町が先行実施

国は、この様な状況を踏まえ、平成17年7月に「アイヌの伝統的な生活空間の再生」に関する基本構想をまとめ、先行して進める地域に白老町を選定し、平成18年度から事業を実施しています。

一方、(社)北海道ウタリ協会では次期実施地域についての検討を進め、平取町を選定し、平成19年2月に開催された国の第4回アイヌの伝統的な生活空間の再生事業運営諮問委員会に報告しました。

平成20年度より平取町でも

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構は、平成19年7月にイオルの再生事業の中期展開方針に関する報告書をまとめ、その中で先行的実施地域として新たに平取町を加え「活動型イオル」を展開することをまとめています。

このような経緯から、平成20年4月より当町においても、本格的に事業がはじまっています。

平取地域イオル再生事業 実施イメージのめざす姿

サルンクイイオル（沙流川流域に住む人々）をイメージし、コタン（集落）を中心とした活動の場を形成

- 現在の暮らし方を尊重し自然素材の生育する豊かな森林などの活動の場を形成
- 自然素材を入手し加工・利用・保存する活動の拠点となるコタンを再現

自然素材の採取などが持続的に可能となる場の形成

- 豊かな恵みを生み出すイオル型の複層林等の育成技術の確立と適正な管理運営
- 自然素材の採取などが一定のルールの下で自由に行える場の確保

自然素材の利用や伝承活動などの継承が循環するシステムの構築

- 自然素材の採集・加工・利用の循環システム（制度）の構築
- 伝承活動が世代間で継承されるシステム（体系）の構築



平取地域イオル再生事業のめざす姿を基本に、沙流川流域イオル構想平取町推進協議会（構成団体〓町、町議会、ウタリ協会平取支部、自治振興会、農協、森林組合、商工会）及びその下のイオル専門委員会（構成団体〓ウタリ協会平取支部、二風谷アイヌ語教室、アイヌ文化保存会、二風谷観光振興組合、企業組合二風谷民芸）で議論を重ね、コタンの再現、イオルの森（仮称）、水辺空間の再生の三つの領域を定めました。具体的な実施内容について、三領域それぞれに検討部会を設け整備方針等について検討を進めています。

【コタンの再現方針】

かつてのコタンをイメージし、ポロチセなどのチセ群及び付帯する伝統的な建造物を復元する。また、生活に必要な民具・祭具についても複製し活動拠点の場とする。

○基本方針

- ポロチセ等チセ群、5〜6棟及び付帯施設の復元と生活民具・祭具などの複製
- かつてのコタンをイメージした修景と基盤の整備
- 活動の拠点となる利用計画の樹立と管理運営計画の策定及び管理要員の養成

平成21年度は

平成20年度にはコタン再現方針の樹立とポロチセ（大きい家）の復元を同時に進めてきました。

ポロチセの復元は（財）アイヌ文化振興・研究推進機構が採用した地元の伝承者と作業従事者の方々で行っており、チセ、カヤの採取から始まり、樹木の伐採・加工・復元まで昔ながらの伝統工法を多く取り入れ復元しました。

平成21年度からは、復元されたポロチセを拠点に伝承活動を具体的に行うこととしており、伝統文化継承のためのシステムの構築をめざした検討も進めています。また、チセ（2棟）、付帯施設（プほか）、修景整備を計画しております。

コタンの再現 （二風谷観光公園）



- <凡例>
- ポロチセ（大きい家）
 - チセ（家）
 - プ（倉）
 - ヘベレセツ（熊おり）
 - ヌササン（祭壇）
 - クチャチセ（狩小屋）
 - クマ（もの干し竿）
 - メノコル（女性トイレ）
 - オッカヨル（男性トイレ）

今回は、水辺空間（本町河川敷地）とイオルの森（仮称）整備についてご紹介いたします。



町のひろば



初午祭 矢刺しの神事 (2/6)

愛馬の安全と活躍を祈願する道内外からの軽種馬生産者ら約150人が参列し、義経神社で恒例の初午祭が営まれました。

邪気をはらう「矢刺しの神事」では、昨年の道営競馬リーディングジョッキー 五十嵐冬樹騎手が行事者を務め、馬上から今年の凶方とされる南南西に向かって、3本の破魔矢を放ちました。

幸運が訪れるという矢を拾った3人は、五十嵐騎手と一緒に記念撮影をし「馬も人も、今年一年無事で過ごしたい」と笑顔で話していました。

義経雪あかり (2/3)

「義経雪あかり」が商工会平取地区会の主催によりふれあいセンターびらとりを主会場として開催されました。

市街地の通りに並んだアイスクャンドルや子どもたちが思い思いに画を描いた行灯に火がともされ、道行く人の目を楽しませていました。

また、小学生を対象に「氷の彫刻コンテスト」も行われ、参加した子どもたちは専用の道具で「かに」「目玉おやじ」「タカ&トシのライオン」などの氷の像づくりに挑戦していました。

ふれあいセンターでは、熱々の「義経雪うどん」や甘酒のサービスコーナーに長い列ができ、訪れた見物客は寒い中で思わぬごちそうに舌鼓を打っていました。



二谷優吾くんが特別賞を受章 日高管内教育実践表彰 (2/20)

平成20年の官公庁または全国的な組織団体等が主催する、各種大会及び発表会において、優秀な成績をおさめた団体及び個人を表彰するのが、この「特別賞」です。

二谷優吾君(貫気別小学校)は、全道大会である第27回北海道小学生パドミントン大会男子シングルス5年生以下の部において、優勝を果したので、この受賞につながりました。

貫気別小学校において、斉藤教育長より二谷君へ賞状が渡されました。

シシリムカアイヌ文化祭 (2/15)

アイヌ文化の伝承活動発表の場として「第20回シシリムカアイヌ文化祭」が中央公民館で開催されました。

ウボボ（座り歌）、古式舞踊、早口言葉、カムイユカラ（神の謡）、ユカラ（英雄叙事詩）などアイヌ語教室の子どもたちや平取アイヌ文化保存会の皆さんなどにより次々と披露されました。

続いて、イオル（アイヌの伝統的生活空間）再生事業の経過報告の後、ゲストとして出演した浦河文化保存会の古式舞踊の特別公演に、約250人の聴衆は盛んな拍手を送っていました。



トマトの里づくりフォーラム (2/26)



道内一のトマトの産地平取町で、トマトをテーマに農業者、商工業者、町民が連帯するまちづくりをすすめるため、「トマトの里づくりフォーラム」が二風谷の沙流川歴史館レクチャーホールで開催されました。

フードジャーナリストの林美香子さんを講師におこなわれた基調講演では、「トマトの里をめざすには地域の様々な分野の人たちの連帯が必要であり、皆がびらとりトマトのサポーターになることがポイント」などのアドバイスを受けました。

続いて、糸屋新一郎さん（トマト栽培農家）、青山和博さん（町商工会副会長）、山本敦子さん（米澤電気商会平取営業所長）の3人によるパネルディスカッションが行われ、参加した約100人の聴衆は、熱心に聞き入っていました。

町有林で枝打ち・枝条巻き 緊急雇用対策 (2/12)

不況に伴い悪化する雇用状況を少しでも改善することを目的に、町有林での枝打ちやエゾシカが傷つけるのを防ぐため、枝を幹に巻く「枝条巻き」の作業を行う「緊急雇用創出対策事業」が実施されました。

募集により採用された作業員は23人で、中には未経験の人もいて、時折、小雪の降るなか慣れない手つきで作業に汗を流していました。



平取町国民健康保健病院 事業改革プランを策定

当町の国保病院については、平成19年度末で約2億9千万円の不良債務（資金不足）を抱え、厳しい経営状況にあることから、国の指導により病院改革プランを策定し、病院経営の改善を図ることが求められていました。

これに基づき、本年1月26日に当院の改革プランを策定しました。

計画期間は、平成21～23年度までの3か年で、最終年度内に経常収支の黒字化が目標（国の方針「ガイドライン」となっています）。

その概要について、お知らせします。

1. 医療施策の基本方針について

地域で安心して生活していくために、当院の診療充実と経営安定を図るとともに、他の医療機関と連携し、地域医療サービスの充実に努めます。

2. 今後の方向性について

① 一次救急医療の提供

夜間・休日を問わない診療体制（24時間受入れ対応）を基本に、苫小牧市等の二次医療機関と連携し、安全で安心な医療サービスを提供します。

また、振内診療所についても、地域に密着した医療サービスの提供を継続します。

② 高齢化に対応した入院病棟の確保

通院患者の交通の確保や介護老人福祉施設等との連携を密にし、療養病床と一般病床を確保します。

③ リハビリ科の設置

新たにリハビリ科を設置し、早期の社会復帰を目指します。

3. 経営方針について （取組み内容等）

病床利用率の低い療養型を縮小し、現状に見合う経営規模へのスリム化により、経営の効率化を図ります。
なお、その実現のための取組みについては、次のとおりとします。

初期治療を提供する救急体制を維持

入院病床数の見直し

通院患者の交通確保・健診業務の積極的推進

振内診療所の継続

リハビリ体制の整備

看護配置・定員管理の適正化

⑦ 特定健診や各医療サービス等のPR

⑧ 職員一人ひとりの意識の向上等、経営効率化の取組み

○ 病床数の変更

【療養病床】

44床から20床に縮減

【一般病床】

31床から45床に増床

○ 患者数の目標等

【1日あたり目標入院患者数】

療養病床 15人

一般病床 35人

【病床利用率】

75%以上

【1日あたり目標外来患者数】

本院 90人

振内診療所 20人



4. 一般会計における経費負担の考え方（繰出基準）

一般会計（町）においては、地域住民が求める医療サービスに対して、安全で安心に提供するために必要な病院運営経費として、次のとおり負担することとします。

ただし、これまでの不良債務

（平成19年度末の累計額）約2億9千万円）に関しては、町の実質的な財源負担がほとんど無い状況で生じたものであり、本来、過年度において、既に解消されるべきものであったことから、平成20年度及び平成21年度でその全額を繰出し、清算することとします。

(1) 法的に定められている経費分について（繰出基準内の負担）

過疎地域等における公立病院（不採算地区病院）については、当然、赤字経営が想定されることから、交付税による財源補てん措置が講じられています。

その額は、不採算地区・救急告示病院の経費として、年間で約1億4百万円が町に交付されているほかに、企業債元利償還

金（資本的支出）・各種健診業務等（保健衛生行政事務費）の経費についても、一定程度の交付税措置がなされています。

また、高度医療機器の整備（平成18年にCTスキャン・生化学自動分析装置）に要する年間約9百万円のリース料（5年間）については、資本的支出分として、病院会計に繰出すこととします。

(2) 不良債務の補てんについて（繰出基準外の負担）平成20年度以降

平成20年度以降に生じる不良債務額（推計）については、年間約2億4千万円程度として、病院会計に繰出し、その解消を図ることとします。

(3) 一般会計の実質的な財源負担について（平成20年度以降）

一般会計における年間約2億4千万円の病院会計への繰出金については、交付税措置や資本的支出に対する負担等を差引くと、実質的な財源負担額は、年間約1億1千万円程度であり、町民一人当たり、約1万9千円の負担となります。

本計画の取組みや進捗状況については、毎年度、改革プラン検討委員会（有識者や各団体の代表者等の委員10人で構成）で報告・評価等を行い、町民に公開します。

また、進捗状況や医療環境の変動等により、改革プランの見直しが必要な場合は、当検討委員会の審議を経て、計画変更を行います。

現在、当町の国保病院では、約60人もの雇用（委託業務を含む）が創出され、経済的な効果が大きいことや、周辺における公立病院の診療所化・病床数の削減等、医療環境が益々悪化していく現状を考えると、地域医療を担うための公立病院を維持・存続させることが最も重要です。

本改革プランの実現に向けて取組みますので、多くの町民の皆様が、当町の国保病院をご利用されますよう、ご協力をお願いします。

経営効率化における財務に係る数値目標

	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
医業収支比率（％）	62.6	62.0	62.2	66.0	68.4	平成22年度より病床数変更
経常収支比率（％）	86.2	125.7	98.2	99.3	101.5	
職員給与費比率（％）	83.1	83.1	81.6	74.5	71.5	
病床利用率 75床（％）	45.5	51.2	56.0	70.8	76.9	平成22年度より65床
一般病床 31床	72.6	86.5	87.1	68.9	77.8	平成22年度より45床
療養病床 45床	26.4	26.1	34.1	75.0	75.0	平成22年度より20床
1日あたり患者数（人）						
一般病床	22.5	26.8	27	31	35	利用率75%
療養病床	11.6	11.5	15	15	15	利用率75%
本院外来	87.4	88.1	90	90	90	
振内診療所外来	21.3	20.6	20	20	20	
看護配置職員数（人）	35	35	33	32	30	派遣社員（委託）含む

教育委員会からの お知らせ

子育て講座 親子で作って遊ぼう

2月19日に子どもの興味や好奇心を引き出し、普段の子育てに生かしてもらおうと、子育て講座「親子で作って遊ぼう！」が、開催されました。

講師に藤女子大学保育学科の高橋真由美氏をお迎えして、口に入れても安全な材料でつくる「小麦粉粘土」の作り方と、子育てのアドバイスなどを教えていただきました。

先生が食用色素を使って着色した粘土を使って、子ども達はお母さんと一緒に作りはじめると、お団子やイチゴを作ったりして楽しそうでした。

参加した親子は、身近なものから安全なおもちやが出来、先生のお話も日頃の子育てに生かしていきたいと話していました。



わくわく感動体験ツアー 「セザンヌ主義」鑑賞

2月17日、北海道近代美術館で開催中の特別展「セザンヌ主義」と常設展を鑑賞しました。

セザンヌの絵画40点、その影響を受けたとされる国内外の画家の作品100点を比較する形で展示されており、作品数も多く参加者15人は大変満足していました。

女性教養講座

「UDについて考えよう」

1月28日に地域づくり住民講座・女性教養講座として、レポーターの石井雅子さん、番組ディレクターの山田もと子さんを招いて講演をいただきました。

石井さんは出演番組のビデオを交えながら、UD（ユニバーサル・デザイン）誰にでも易しい設計の第一歩である「気づき」そして、「視点を変えること」「こころのUD」共感を持つこと」の大切さを話されました。

参加者は石井さんの軽快なトークに笑い、ゲームやクイズコーナーでは、急にマイクを向けられ、戸惑う一幕も。講演終了後は「とても楽しく良いお話しを聞いた」「これからやってみよう」などの感想が聞かれました。



成人文化講座

「トールペイント講座」

2月9日・12日の2日間に行ったり、生涯学習機会提供の一つとして、「トールペイント講座」が貫気別生活館で開催されました。

いろいろな物に絵が描けるトールペイントは、今回、木製の小物入れに花の絵を描きました。

講師の小林明美先生の指導により、細かい所も丁寧に仕上がりました。大満足の作品となりました。



カーリング大会が開催

平取カーリング協会（佐々憲一会長）主催のカーリング大会が、1月19日から2月10日の期間、開催されました。

今年度は、三大会開催され、合計9チーム、約60名の参加があり、中でも振内中学校生徒による2チームが大会を盛り上げ、熱戦が繰り広げられました。大会結果は次のとおりです。

- ◆第27回平取カーリング協会会長杯
兼リンク開きカーリング大会
優勝 坂本農園
準優勝 振内シルバー
第3位 振内中学校

- ◆第18回仁世宇園杯
カーリング大会
優勝 農林ファイターズ
準優勝 オランダココア
第3位 三井物産フォレスト

- ◆第1回坂本農園杯
カーリング大会
優勝 農林ファイターズ
準優勝 三井物産フォレスト
第3位 振内シルバー



第30回振内地区 ビーチボールバレー大会

2月15日に振内自治会（福澤一光会長）主催の「振内地区ビーチボールバレー大会」が振内青少年会館で開催されました。

この大会は、親睦と健康づくりを目的に毎年開催され、30回目の記念となる今大会は、17チーム、約80名の参加で開催され、各チーム熱戦が繰り広げられ、交流を深めました。大会結果は次の通りです。

- 優勝 1町内Bチーム
準優勝 GO/GO/5チーム
第3位 10町内Bチーム



第17回 平取町ブーツホッケー大会

2月8日に二風谷ファミリランドで「第17回ブーツホッケー大会」（平取町体育連盟主催）が12チーム124人の参加を得て行われました。

予選12試合、決勝12試合が行われ、滑りやすい氷の上を長靴で走るため、転びながらも選手たちは和やかに楽しんでいました。結果は次のとおり。

- 優勝 坂本農園
準優勝 チーム佐藤拓美
第三位 4打数1安打
第四位 びらとりフォレスト

三大学合同学園祭・修了式



作品展など1年間の学習成果を発表しました。また、3月3日に「合同終了式」が中央公民館で行われ、斉藤名誉学長より皆勤賞の21人に賞状が手渡されました。最後に、学生を代表して明生大学の本間義雄学生自治会長が1年間の感想を述べ、新年度への決意を新たにしていきました。

明生・義経・高砂の三大学による「合同学園祭」が2月20日に貫気別生活館で約80人が参加して開催されました。いきがいや健康増進を目的に高齢者大学では、年間15回ほどのクラブ活動や学習会を行っており、学園祭では合唱や舞踊、



すこやかだより

—保健福祉課—

受けていますか!?! 乳がん 子宮がん 検診

乳がん

30人に1人以上が

かかる病気

わが国では、1年間におよそ35000人の女性が乳がんを診断され、今や、30人に1人以上がかかるとの病気で、乳がんは欧米に多く、日本には少ないが、近年、増加が著しいがんです。

40～50代に多くみられますが、最近では、食生活の欧米化により、早い初経や遅い閉経、肥満などから30代や60代での発症も増えていきます。

また、ライフスタイルの変化から、出産経験のない人、高年初産の人が増えてきたことなどが乳がん増加の原因の1つとも考えられています。

乳がんの症状

乳房内、あるいはわきの下など（リンパ節も含む）乳房周辺のしこりを感じる（しこりに触れたときの硬さは、硬い消しゴム、硬くなったチーズ

のようで、初期は痛みはないことが多い）

乳房の皮膚がへこんできたり、むくんだり、赤くなったりする

乳頭がたれたり、へこむ

自分でチェック

してみよう

月に1回、自分で見たり触ったりして異常がないかチェックしましょう。月経が終わってから1週間くらいが乳腺が安定して、自己触診に適しています。

閉経を迎えた方は、月に1回、日にちを決めてのチェックがおすすめです。

①見てチェック

左右の乳房の形や大きさ、くぼみやひきつれ、乳頭の形などをチェック

②触ってチェックする

指の腹で円形を描きながらしこりがないかチェック。乳頭をつまみ、分泌物がないかもチェック

子宮がん

子宮がんの種類

子宮がんには、大きく分けて、子宮の入り口の部位にできる子宮頸がん、子宮の奥にあたる部位にできる子宮体がんの2種類があります。同じ子宮に発症するがんですが、がんを引き起こす危険因子やがんにかかる年齢、症状などには違いがあります。

ヒトパピローマ

ウイルス

頸部がんは、ヒトパピローマウイルスの感染が発がんとして強く関係しています。

高齢になるほど多くなる他のがんと違って、性活動が活発な若い年代での感染の機会が増え、20代の若年層で急増しています。

子宮がんの症状

頸部がん

初期段階では自覚症状はなく、がんが進行すると、不正性器出血、普段と違うおりものが増えるなどの症状がみられる。

初期段階の症状として、不正出血があげられる。ほか、進行すると、血液の混じったおりものや下腹部の痛みなどもみられる。

がん健診

がん健診はがん死亡率を減らすことに有効です。大切なのは、いかに早期のうちになんを見つけてかです。がんから身を守るためにも、がん健診を受診しましょう。

平取町でも乳がん・子宮がん検診を実施します。乳がん検診は4・5月に各1回、子宮がん検診は5・10月に各1回（5月は札幌会場にて、乳がん・子宮がん検診を同時開催）行う予定です。実施日や申込などの詳細については「まちだより」にて周知しますので受診してください。



図書館へいこう

☆開館時間

月～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

通常は月曜日休み、月曜日休日の場合は月曜日と翌日が休みとなります

3月

日 月 火 水 木 金 土
1 ② 3 4 5 6 7
8 ⑨ 10 11 12 13 14
15 ⑩ 16 17 18 19 ⑪ 20 21
22 ⑫ 23 24 25 26 27 28
29 ⑬ 30 31

4月

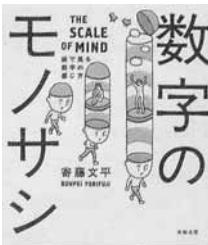
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4
5 ⑭ 6 7 8 9 10 11
12 ⑮ 13 14 15 16 17 18
19 ⑯ 20 21 22 23 24 25
26 ⑰ 27 28 ⑱ 29 30

□は休館日です。

おすすめします この本！

「数字のモノサシ」 / 寄藤文平 <一般>

100円のサンマから20円値引きしてもらって喜ぶ人が、100万円のクルマから20円値引きされるとムカつくのはなぜか。



数字と気持ちのビミョーな関係に、広告「大人たばこ養成講座」のイラストレーターが、ユニークなイラストで迫る。

「吟遊詩人ビートルの物語 -Harry Potter-」 / J. K. ローリング <児童>



ハリリー・ポッターシリーズの著者が描く、魔法界の童話集。この本は、シリーズ最終巻「ハリリー・ポッターと死の秘宝」でダンブルドアからハーマイオニーに贈られた本として登場しています。魔法界で語りつがれるおとぎ話が全5話と、さらにダンブルドア前校長による解説も付いています。

◎一般書◎

パパママスめの10日間 / 五十嵐貴久

英雄の書 / 宮部みゆき

沖田総司壬生狼 / 鳥羽亮

男道 / 清原和博

ディスクスの飼い方 / 大崎善生

こんな感じ / 群ようこ

プリンセス・トヨトミ / 万城目学

◎児童書◎

ババルとおちびのイザベル / ロラン・ド・ブリュノフ

おつきさまのやくそく / いとうひろし

ドンマイ! (3年1組ものがたり5) / 後藤竜二

デモナータ8幕 狼島 / ダレン・シャン

魔使いの戦い / ジョゼフ・ディレイニー

イラストで学べる選挙制度第3巻 / 大野一夫

It's New!

～新しい本が入りました～

「ポトスライムの舟」 / 津村記久子 <一般>

お金がなくても、思いっきり無理をしなくても、夢は毎日育ててゆける。契約社員ナガセの目標は、自分の年収と同じ世界一周旅行の費用を貯めること。

その総額、163万円。執拗なまでに節約を試みるナガセだったが...

第140回芥川賞受賞作。



「なにを食べたらいいの？」 / 安倍司 <一般>

『食品の裏側』の第2弾。多発する産地偽装など、広がる“食”問題の真相とはなにか？前作で書かれなかったさらなる裏側が明らかになる。

食品のプロならではの「食品の選び方7つのルール」添加物を減らすコツ10カ条など、食卓を安心・安全・豊かにする、お金のかからない具体的な方法が満載です。



「ランドセルのはるやすみ」

/ 村上しいこ <児童>

学校の遠足の日、お父ちゃんが一緒にいきたいとダダをこねた。するとぼくのランドセルまで「わたしもえんそく、つれていって」と言い出した。

学校への行き帰りだけではさみしいと言う。ランドセルがはるやすみをとって遠足に行きたいだって!?





氷の彫刻コンテスト（義経雪あかり）

小学生が氷の彫刻作りに挑戦しました。貝澤徹さん（二風谷）の指導により、寒い中、1時間ほどかかって氷の「かに」は完成しました。

戸籍の窓口

楯の実俳句

炭窯の紫煙が春を引き寄する	柴田 紫梢
人生の山坂越えて春を待つ	内海アヤ子
春近しふるさと離る牛の貨車	吉野千佳女
春近し棚のこけしの細き眉	石森 礼子
編む気力あるが生き甲斐 四温かな	西塔しずえ
四肢天に雪と戯る競走馬	遠藤 紫光
冬鳥を抱いてふくらむ松一樹	清水 眞子
春立つや猫甘やかす独居の老	山崎 喜峰
ポツネンと忘れられたる冬帽子	渡辺 正子
不景気の影の深さや氷解く	中道 サト
没ちし日が残すむらさき春近し	井内 青風

町の人口

人口	5,819	(2)
男	2,822	(2)
女	2,997	(0)
世帯数	2,645	(6)
外国人登録数	60	

()内は前月比 2月末現在